

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 27日から28日は、日本付近は冬型の気圧配置が強まる。
- 29日は、高気圧が東シナ海へ移動し、冬型の気圧配置は西から緩む。
- 30日は、高気圧が日本の南を東へ移動し、気圧の谷が日本海から北日本付近へ進む。
- 31日は、気圧の谷が日本の東へ進み、日本付近は冬型の気圧配置となる。

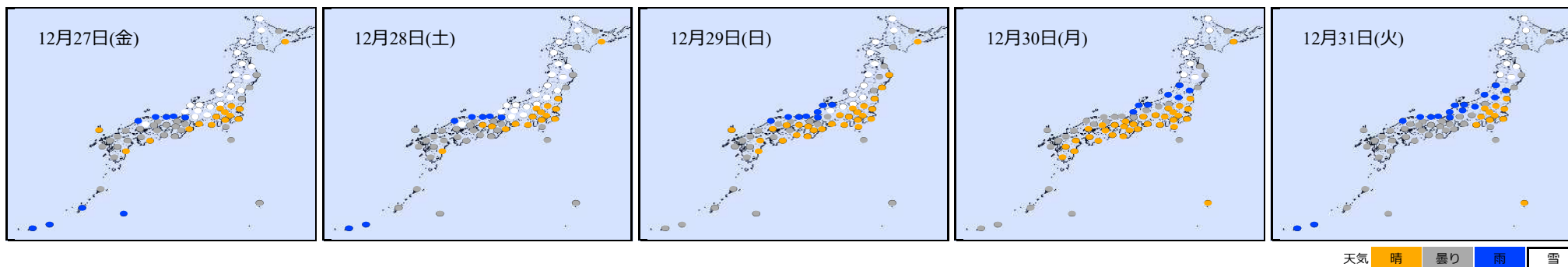
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 27日から28日頃にかけて、日本付近は強い寒気が流れ込み冬型の気圧配置が強まるため、日本海側を中心に荒れた天気となり、総降雪量が多くなるおそれがある。また、寒気の程度によっては警報級の大雪となる所もある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

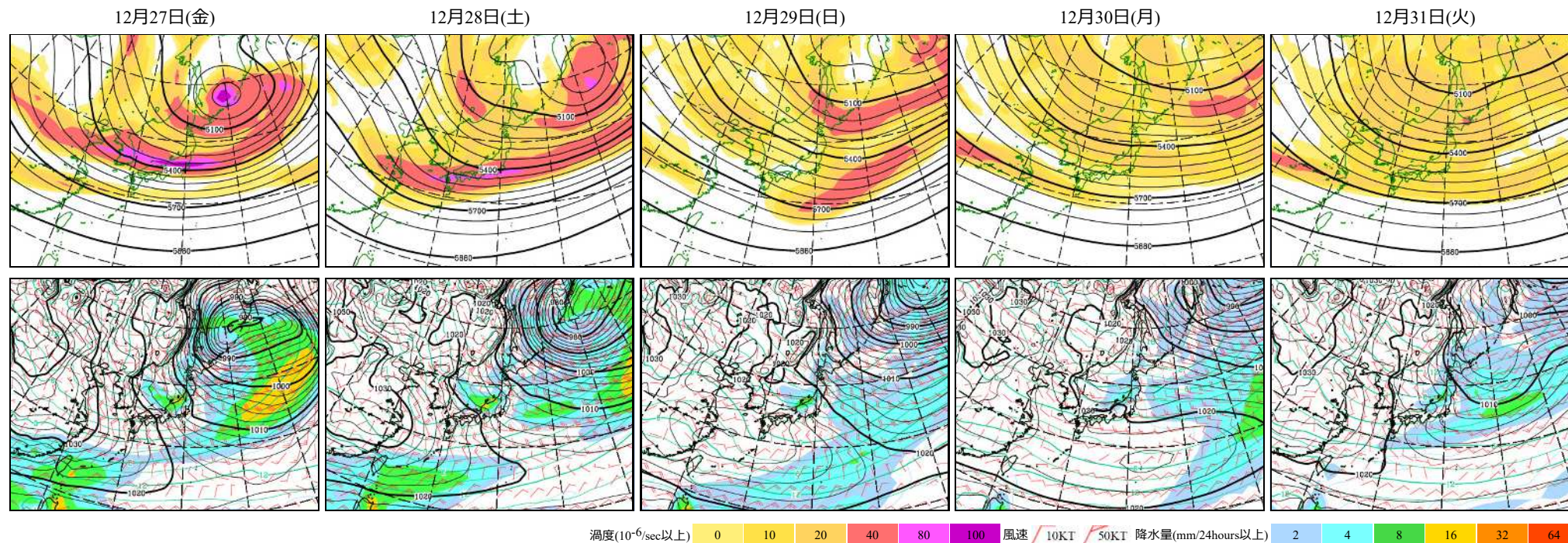
## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)



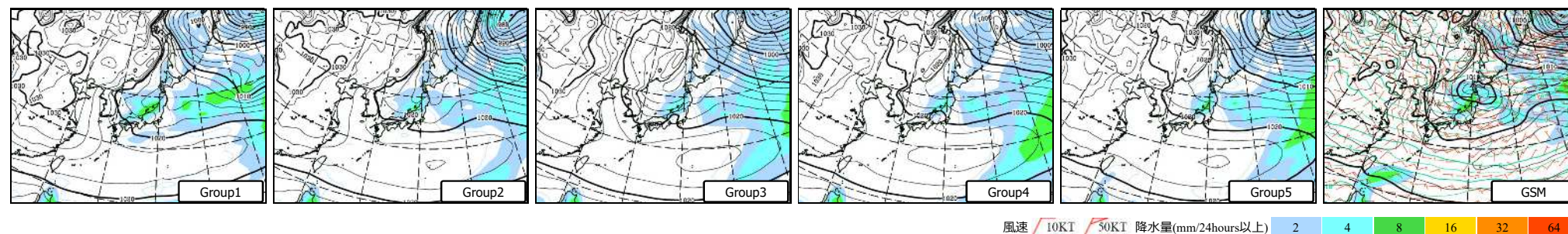
- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雪または雨の降る所が多い。
- 東日本から西日本にかけての太平洋側は、晴れまたは曇りの所が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。



◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆12月30日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、大きな初期値変わりはない。
- 27日から28日にかけて日本付近に進むトラフの予想は、初期値変わりしたモデルもあるが、モデル間の差は小さくなった。30日から31日にかけて日本付近を進むトラフの予想には、初期値変わりがあり、モデル間の差も大きくなっている。
- 30日は、日本海が気圧の谷となる予想だが、低気圧を予想するモデルもある。低気圧の位置にはモデルによって違いがあるが、ENSにはそれぞれのモデルに近いメンバーが含まれている。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。